

ツキノワグマのエサ資源の豊凶予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の着果状況を調査し、豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの秋の出没傾向を予想しており、調査結果に基づく今秋の豊凶予測は以下のとおり。

1 調査内容

(1) 調査箇所

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町の地点
 [加賀市・小松市・能美市・白山市・金沢市・津幡町
 宝達志水町・中能登町]

(2) 調査期間

8月中～下旬

(3) 調査方法

各調査地点のブナ科植物の果実の着果状況を調査し、樹種毎に豊凶を予測

2 今秋の豊凶予測

樹種	豊凶予測	着果度	調査地点	(参考)			
				H29		H28	
ブナ	豊作	2.12	21地点	並作	1.75	凶作	0.21
ミズナラ	豊作	2.58	19地点	豊作	2.17	豊作	2.45
コナラ	並作	1.83	28地点	並作	1.86	豊作	2.09

(参考) 各年度の豊凶予測

区分	H16※	H18	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	凡例
ブナ	×	▲	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	◎	
ミズナラ	×	▲	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	
コナラ	×	○	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	
目撃件数	1006 (295)	333 (71)	58 (47)	353 (86)	60 (44)	126 (90)	147 (128)	256 (165)	195 (150)	246 (197)	200 (165)	— (152)	

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※ () 内は9月18日時点の目撃件数